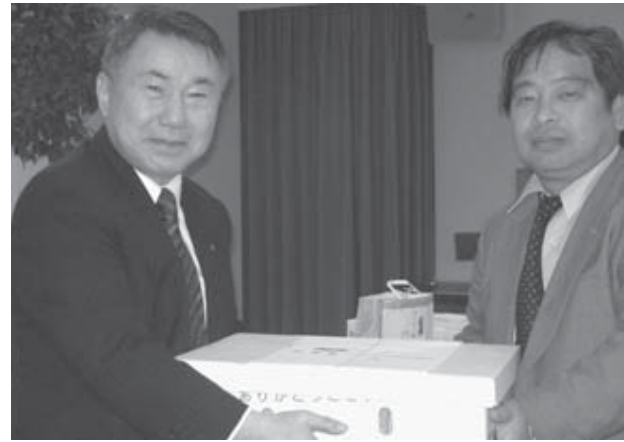
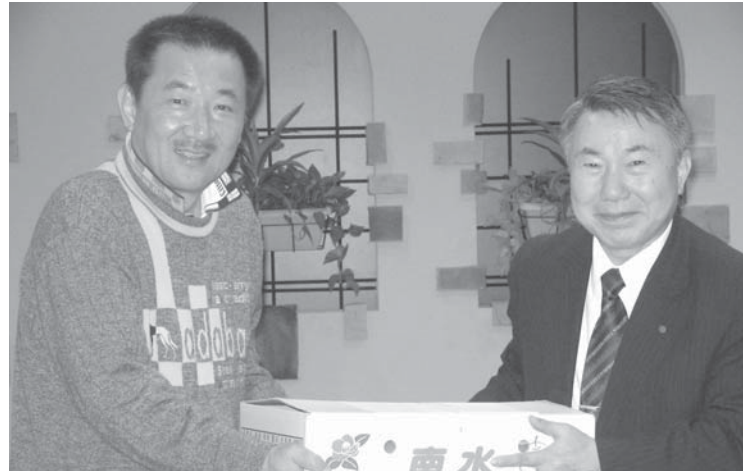


親善ゴルフ大会で
秋を満喫

山口浩二氏が優勝

ちょっと肌寒く感じられる秋の10月12日(木)、フォレストカントリー倶楽部にて親睦ゴルフ大会が行われました。三々五々と朝早く集まった参加者から「今日はちょっと寒いのでスコアはどうかなあ」という言葉が聞かれプレーがスタート。拮抗したプレーの中にも和気あいあいとした雰囲気の中で参加者の親睦を深めた大会となりました。

大会終了後、会場をプライダルステージ「デュオ」に移し、成績発表、表彰式、親睦会が行われ、優勝は(株)新潟米山薬品の山口浩二さん、準優勝は市会議員の渡辺均さん、三位は(株)不二工務店の山田昭英さんでした。表彰式では村尾会長から秋の王様「松茸」や旬の果物など豪華賞品が贈られ、秋の匂いが満杯の会場は賑やかに懇親会が続きました。



事務局だより

会員の皆様には、日頃当会運営にご協力をいただきありがとうございます。昨今の経済状況は新聞紙上で「回復基調が続いている」とありますが、実感として感じられない現状ではないでしょうか。新潟市南商工振興会も少しずつ会員が減少しています。新潟市の広域合併により当会が位置する南地区も大きく広がり、会としても線引きをどこまでとするのか検討が必要かと思いますが、より活気ある安定した会の運営ができるよう会員の皆様より会員増強にご尽力いただきたくお願い申し上げます。

なお、当会では「新潟市南商工振興会ホームページ」を開設して活動事業など情報発信しておりますのでご覧ください。

ホームページアドレス <http://niigata-minamishoko.com/>

えきなんだより
EKINAN
journal

とくら

第42号

発行日・2006年12月11日
発行所・新潟市南商工振興会
題字・石津貞夫(名誉会長)

けやき通り

NIIGATA光のページェント

「おかげさまで19回目。もっと市民の声を!!」 12月15日に点灯式



NIIGATA光のページェントは、市民の皆様を支えられて19年目を迎えます。点灯式は12月15日(金)午後6:00より行われ、点灯期間は12月15日(金)から来年1月8日(月)まで毎日午後5時~夜半0時20分まで点灯します。

来年、新潟市は政令市になり、「NIIGATA光のページェント」は20周年を迎えることとなります。この実現を支えているのは、市民の皆さん一人ひとりの「キモチ」つまりご理解とご協力であり、実行委員会としても大変感謝しています。

しかし、こんな時代ですから「NIIGATA光のページェント」を維持していくには問題もけっこうあります。苦労話だと思って読んでいただければと思います。この事業は、他の事業と同じようにお金が掛かります。事業費の一部は新潟市からの補助金、残りは地元企業や団体や個人からの募金で運営されています。問題は①景気が悪いせいか募金が集まりにくくなりました。②80万人という人口からすると興味がある人、関わっている人が少ない。③地元けやき通りからの支援が十分とはいえない、等ですが全部あげればきりがありません。いずれも解決していくには実行委員会内部の改革が急がれますし、同時にもっと多くの市民の声を反映していきたいと思

っています。

私達は今だからこそ、実行委員会を維持できるような組織づくりをし、政令市誕生の年の20周年をなんとか実現させたいと思っています。実行委員会だけでは力が足りません。そのためにはこの機会にぜひとも市民一人ひとり、今これを読んであなたの声を教えていただきたいと強く思っています。「あなたの声」は下記で受け付けておりますので是非とも応募していただきますようよろしくお願いいたします。「あなたの声」は今後の運営に活用させていただきます。よろしくお願いいたします。

<http://www.hikari-pageant.com> ホームページを開設しました。ぜひご覧ください。

また、メールかファックスでご意見やご感想をお寄せ下さい。お待ちしております。

新潟市南商工振興会 minami-s@cream.plala.or.jp
ファックス025-245-3557



さくら満開、爽やかな春の風が舞う新潟県スポーツ公園、「おはようございまーす」元気な声でスタッフが続々と本部前に集まって来ました。

長い冬を乗り越えようやく迎えた春一番の祭典「第7回カナル彩 春」4月22日(土)、23日(日)の2日間、さあ開幕です。

今年でNIIGATAスプリングフェスティバルは26回、新潟県都市緑化フェアは19回、合同開催も7回となり、今年からネーミングに“春”を付けて「カナル彩 春」となり新しいスタート。

来年4月に日本海側唯一の政令都市になるためイベントも一層中身の濃い祭典となりました。15市町村合併と政令市を祝す思いで各市町村の食材を入れた「合併汁」が花見茶屋で販売され、2日間とも完売の札が早々と下がりました。23日(日)には合併により新潟市の人口が81万人余となったことを記念して、長さ81m40.6cmの「合併まき」を市民からの応募とイベント参加者数百人により巻かれ「ギネスブックに載るのでは？」との声も出るような超長い「のり巻き」ができ、それを途中で切れないように全員で持ち上げて完成、会場から拍手と歓声が湧き上がりました。そのあと参加者と会場の人達に切り配られ美味しく食べていました。

会場のカナルにはカラフルなカヌーが何艘も浮かび、カナルステージでは各主催の式典、中学高校の吹奏楽と合唱、若さあふれるヒップホップダンスコンテスト、春の民謡おど

りなど、その右岸側に「新潟県都市緑化フェア」のにいがた百年物語、フリーマーケットなどを開催、左岸側に「NIIGATAスプリングフェスティバル」「花見茶屋、ここにしか無い「カナル焼き」などを開催。列柱廊には人気の新潟県内農業高校生産物販売やトキメキ新潟国体PRコーナーなど。ゲート広場では毎年長蛇の列になる「ハーレーダビットソン試乗会」、人垣ができる「大道芸」、「おもしろ自転車試乗会」。ビッグスワン内では力自慢のJA新潟市の「俵運びレース」、子どもたちの「ミニサッカー大会」、色々なニューススポーツ体験コーナー。大駐車場側では高所クレーン作業車の「空中遊泳試乗会」。他にも盛りだくさんのイベントが行われました。

23日には恒例の「とやの湖一周ウォーク」と「ミニウォーク」が朝一番にビッグスワンのトラックから満開の桜を見ながらゴールを目指して出発。カナル彩のメインイベントとなった「新潟よさこい彩」が県内各地から参加のよさこいおどりチームにより、ビッグスワン内、カナル通り、カナルステージと会場狭しと元気に華やかに繰り広げられ、最後に参加チーム全員と飛び入りの人達で「新潟よさこい彩総おどり」で会場は最高の盛り上がりとなったところで全てのイベントが終了しました。

来年は政令市「新潟」のスタートの年、スタッフの皆さんから新しいイベントの企画が出て来ると期待させる「カナル彩 春」でした。

記念講演

「新しいまちづくりとコミュニティ活動」

定時総会と新年懇親会を開催



第26回定時総会及び新年懇親会が3月2日(木)午後4時30分よりプライダルステージ「デュオ」で開催されました。

総会は村尾会長の挨拶の後、議長に村尾会長を選任して議案審議が進められました。議案は①平成17年度事業報告、②同決算報告、③監査報告、④平成18年度事業計画案、⑤同予算案と続き全議案が了承され、⑥各事業実行委員長よりのお礼とお願い、⑦村木総務委員長より会員増強のお願いをして閉会となりました。

続いて午後5時から同会場で講演会が行われ、豊栄地区地域協議会 小川竹二 会長(旧豊栄市長)を講師にお迎えし、新潟市が15市町村広域合併で政令指定都市になるため「大きなまちづくり・小さなまちづくり……政令指定都市・新潟、今後の展望」と言う演題でお話いただきました。

「大きなまちづくり」とは、新潟市が合併により

人口81万人の日本海側唯一の政令指定都市として環日本海の拠点都市となり、北東アジアとの物流と交流の拠点となるべく、国内外へのネットワークを形成し、開かれた国際交流都市を目指す。また食料自給率64%の田園型政令市として都市と農業の共生を図り、環境重視型社会を構築し、アジアの食糧政策をリードすること。

「小さなまちづくり」とは、行政改革によって地域自治組織(区)を作って分権を進め、基本的な組織単位としてコミュニティを位置づける。また地域改革により身近な地域への分権(地域自治協議会による住民自治)を進め、コミュニティ活動の主体である住民が区政に参加しやすい環境をつくり、地域コミュニティを核とした住民自治を育て、自立した活力ある地域社会を創ること。

大都市でも、暮らしを守り、暮らしを豊かにしていく仕組みを作ることが出来る政令市こそ、新潟県発展の原動力であり、日本の未来を指し示すものである、と括られました。

当南商工振興会としても今後のコミュニティ協議会などの構成に協力しかつ行動し“活気あるまちづくり”を推進しなければ!と思う有意義な講演でした。

このあと、会場を移して新年懇親会が行われ、出席者の親睦を深めるとともに新しい年の活気ある活動を誓い合い、北村副会長の挨拶で会は終了しました。



建設コンサルタント

ISO 9001・14001
認証取得

株式会社
村尾技建

代表取締役 村尾 建治

本社 〒950-0948 新潟市女池南2丁目4番17号
TEL 025-284-6100(代)

創造・開拓・飛躍

管工機材・ポンプ・住宅設備機器
冷暖房空調機器・機械工具
消雪ノズル装置・HIS式消雪ブロック

株式会社 **丸北**

本社 新潟市南笹口2-7-32 TEL (025) 246-1151

Live Sound Crew

SoundEight
Co.,Ltd

〒950-0922
新潟市山ニツ2-16-14
Tel: 025-257-7559
http://www.soundeight.net

♪各種イベントの音響・照明
♪録音・編集
♪電気工事
♪機材メンテナンス

田中番記者「ニュースの裏側を読み」

夏期勉強会で小田敏三氏講演



番記者としてその場にいないと表現できない実際の会話や応酬のやり取りを「ここだけの話…」としながらもアチコチに交えながら参加者の興味をぐいぐいと引き込んでいきました。

小田氏は、「『政治とは何か』について、田中元首相は常によどみなく『生活者が流す汗に報いるのが政治だ』と言い続けてきた。『しかし、30年後の日本はいわゆる格差社会が一層拡がりつつあり、価値観もモラルも急激に変化している』と訴えられた。その一例として『小学校の給食費が払えない、あるいは払わないというのは社会的には大きなニュースだが、裏側には、その払えない親が月に2万円以上もケータイ料金を払っているというニュースにはならない現実がある』と言われ、「ニュースの裏側に時代の流れを見つけてゆくことが大切」と結ばれて、充実し深い感銘を受けた勉強会を終わりました。

7月27日(木)、恒例行事の「夏期勉強会と納涼会」を、ライダーステージ「デュオ」で開催しました。

前半の「勉強会」は、新潟日報社総務局長の小田敏三氏を講師に迎え、『ニュースの裏側を読み』と題して1時間の講演を聞きました。

小田氏は、東京支社報道部時代の1981年から5年間、田中角栄氏の「番記者」として、新潟県の生んだ元総理大臣に密着した取材活動をされ生々しい報道を新潟県民に伝えてきた経歴の持ち主。

偶然とはいえ、ちょうど30年前の1976年のこの日(7月27日)、田中角栄氏が現職の総理大臣のまま逮捕されて、日本国中を、中でも新潟県民に与えた電撃的なショックの大きさはまさに想像を絶するものでした。30年後のこの日の新潟日報朝刊はその特集記事を組み、その中でも「番記者が見た『7.27』」の10段組の小田氏の署名記事が紙面に躍っていたのが、当日の朝のことでした。

小田氏は「番記者」として、その後の田中裁判の公判日程はすべて法廷の記者席から取材してきたといわれ、5年間に亘る密着取材の中で語られる生々しい田中政治のウラ・オモテ、



後半は会場を移してお待ちかねの「納涼会」を開催、「炎暑に負けるな!」とばかりにあちこちで威勢の良いジョッキの乾杯の音が響く中で、笑い声が飛び交い、夏の夜の親睦活動も一層深まったことでした。



●取扱いブランド・メーカー
 <ブランド> AYURA BVLGARI ck de peau
 QIORA BÉNÉFIQUE Twany Lissage Prédia
 プログラム Elegance IGNIS KIRYO COSME DECORTE
 <メーカー> SHI/EIDO MAXFACTOR Kanebo KOSE
 アルビオン CATHY OPAL 学協指定店
(株) 花やしき
 アピタ新潟西店 ●新潟市小新字白鳥 TEL (025) 201-1060
 イオン新発田店 ●新発田市住吉町 TEL (0254) 21-7879

屋根・雨樋・外壁
 リフォーム工事
USAMI 齋宇佐美鋳金工業
 新潟県知事許可(般-17)15151号
 新潟市女池7丁目4番4号
 TEL 285-2147 (代) FAX 285-6426
 工場 新潟市姥ヶ山308
 TEL 257-8555 FAX 287-7050

NKD エレクトロニクスの
 総合商社
(株) エヌ・ケー電機興業
 〒950-0944 新潟市愛宕1丁目2-17
 TEL (025) 283-8729 (代表)
 FAX (025) 283-8796

なぜが僕らは年中中!?
新時代宣言!
 各種イベント
 サイン工事
 学会
 ディスプレイ
 各種式典
株式会社 新宣
 本社
 〒950-0983 新潟市神道寺2丁目3番23号
 TEL 025-243-6827 FAX 025-241-0768
 朱鷺メッセ営業所
 〒950-0078 新潟市万代島5番1号
 TEL 025-243-7040 FAX 025-243-7041

X'masセール開催中!!
401
DEKKY401
 (代表) TEL 025-281-2111

500秒の奇蹟
ツミツクエステ
 を体験してみませんか?
 ファーマシー
よねやま
 新潟市米山4-1-5
 TEL 025-243-2430
 営業時間/AM9:00~PM8:00 定休日/日曜日
 エステ受付時間/AM11:00~PM6:00 (予約制)

コミュニティー造りの担い手に
 我が社もお手伝いします。
 青少年育成・ボランティア・スプリングフェスティバル・光のページェント
金井度量衡株式会社
 ■本社/新潟店 〒950-0971 新潟市近江1-1-3
 TEL (025) 283-8800 FAX (025) 283-6100
 ■長岡本店/TEL (0258) 32-0843 FAX (0258) 34-1073
 ■上越店/TEL (025) 525-2524 FAX (025) 525-2187
 ■ホームページ/ http://www.kanai.co.jp
 【グループ】カウベルファーム牧場USAアトランタ郊外
 計量器の小さな資料館(本社3F常設)

総合建設業
株式会社 不二工務店
 本社/新潟市上所中2丁目5番2号
 TEL 025-285-2361
 FAX 025-285-0818

ひと・技術・豊かな未来、トース。 **TOSYS**
 お客様の情報通信をサポートする
東日本システム建設株式会社
 〒950-8603 新潟市女池4丁目17番26号
 TEL (025) 285-1171 FAX (025) 284-4875
 ホームページ http://www.tosys.co.jp

熱戦展開! 優勝旗は「チャレンジャーII」に

●● 桜杯親善ソフトバレーに56チーム参加 ●●

「第20回桜杯親善ソフトバレーボール大会」が、春半ばとはいえちょっと肌寒い4月16日(日)鳥屋野総合体育館で行われ、今年は広域合併により新津地区からの参加もあり56チームが8ブロックに分かれての桜杯争奪戦が熱く繰り広げられました。チームは8人編成で、競技は男女各2人の計4人での戦いです。

鳥村実行委員長の開会宣言、前年優勝チーム「木山てるてる」からの優勝旗返還、村尾会長の挨拶、選手宣誓、競技上の注意の後、熱戦の火蓋が切られました。会場はレシーブやスパイクが決まるたびに歓声が上がリ、応援もヒートアップ、各チームとも疲れも見せず予選6試合を戦い、各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ駒を進めました。

16チームでの決勝トーナメントはさすが激戦を勝ち抜いたチーム同士の戦い、ナイスレシーブ、ナイススパイクの連続で好試合が続き、観客や控え選手は興奮の渦の中で声援を送っていました。

結果は、「チャレンジャーII」が桜杯と共に優勝旗を手にし、準優勝は「鳥屋野ベガサス」、3位は「ワッシーズ」と優勝の兄弟チーム「チャレンジャーI」でした。表彰式には特別協賛の㈱佐藤食品工業、三国ココロラボトリング㈱よりの賞品が贈呈され、満面の笑顔でチームメイトと喜びを分かち合っていました。

表彰式のあと、鳥村実行委員長の閉会の言葉で大会は無事終了しました。



予選リーグ結果

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1	NSVCクイーン	ブラックストーン	新通ミラクルズ B	坂井輪タンポポ 1
2	鳥屋野オリオン	チャレンジャー I	坂井輪イーグルス	鳥屋野ベガサス
3	木山てるてる	SVC湊エイプリル	笹口けやきクラブ月組	G-KONG I
4	柳 都	笹口けやきクラブ星組	ぶるーSKY	下山 B
5	あるでんて G	クリスタルキング	キャッツアイたま	竹尾SVC・B
6	パインビーチ 分家	五十嵐レモン	坂井輪タンポポ 2	ボンバーズ B
7	山潟ラベンダー	竹尾SVC・A	浦浜ソフトバレー レッド	有明台ドナルド

順位	Eブロック	Fブロック	Gブロック	Hブロック
1	チャレンジャーII	ワッシーズ	下山 A	新通ミラクルズ A
2	NSVC キング	島見アームズ	上山SVC (A)	SVC湊 スプリング
3	坂井輪ライオンズ	キャッツアイみけ	東中野山	ピエトロ
4	ターキーレンジャー	紫竹山パープルシャーク	wings 02	wings 01
5	SOLD☆OUT	木山かっちゃん	パインビーチ 本家	G-KONG II
6	五十嵐アップル	ボンバーズ A	浦浜ソフトバレー ブルー	上山SVC (B)
7	ピンクSKY	クリスタルパワーズ	有明台ミッキー	あるでんて V

ケータイ、パソコンOK!
mydreams.jp
 入学願書受付中
NSGグループ
 NSGグループ専門学校事務局
 〒950-0914 新潟市紫竹山6-3-5
 TEL 025 (255) 5524 FAX 025 (255) 5523

コンクリート住宅「空中庭園のある家」
 賃貸マンション「エテルノ」
イフコンハウス新潟(株)
 代表取締役 高尾 茂典

わたしたちは印刷の
〈いのち〉をみつめます。
 営業案内
 事務用帳票/コンピュータ用連絡伝票/パンフレット/ダイレクトメール/チラシ/ポスター/カタログ/包装紙/会社案内/社内報/カレンダー/シール/ラベル/グラフィックデザイン/コマース印刷
佑工舎印刷株式会社
 〒950-0941/新潟市女池1丁目4-17
 TEL (025)285-3151(代表) FAX (025)283-7231

09年に「南口広場の暫定整備完了へ」

新潟駅連続立体交差事業がスタート

今後の具体的な動きについて早稲見新潟市新潟駅周辺整備事務所長に取材しました。

1 整備事業の動きは?

今年1月に全体の都市計画決定を、7月には国の事業認可を受け、現在、測量や調査・設計などに取り組んでいます。

現地での実質的な作業は来年度から始まりますが、政令市移行により、連続立体交差化の事業主体が県から市に移りますので、鉄道高架化と広場・道路整備を一体的に進めることができます。地域及び地権者の皆様のご理解・ご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。

2 今後のスケジュールは?

全体の整備完了までは20年の長期間と総額約1,445億円を予定しています。

メインとなる鉄道連続立体交差化の目標を平成27年度としています。南口広場(第一段階整備)と幹線道路4路線の鉄道横断部の開通により駅南地区からの駅利用がしやすくなるとともに万代方面への交通の流れが円滑になります。

(1) 南口広場は?

平成19年度から、現在、駅南駐車場として利用されている場所に、バス・タクシー乗り場を併設した広場を第一段階に整備します。エレベーター・エスカレーターも設置しますので、駅との距離が短くなり乗り換えが便利になります。

また、空港リムジンバスの発着なども検討しています。

平成21年9月の国体開催時にはその主会場となるビッグスワン方面とのアクセスに対応できるようになります。

(2) 鉄道の連続立体交差化は?

平成20年度に仮の線路を設置する工事から始まります。空いた線路に高架化工事を進めながら、平成25年度に高架ホームが一部暫定開業し、平成27年度にホーム3面5番線での高架化の完了を予定しています。

ホームが新幹線と同じ高さになり、2階部分での連絡や新幹線と同一ホームでの羽越線方面への乗り換えができるようになり、便利になります。

(3) 幹線道路の整備は?

新潟鳥屋野線の工事が平成23年度から始まるのを皮切りに、



その他の路線も順次工事に着手し、平成27年度には幹線道路の鉄道横断部(東跨線橋の撤去含む)、笹出線の一部区間、在来線の連続立体交差化が完成します。

(4) 万代広場の整備などは?

連続立体交差化完了後、万代広場や鉄道高架下交通広場の整備を進め、平成32年度頃には、駅舎の直下にバス乗降場が設置され、万代橋から弁天線方面へ通じる基幹交通軸が完成し、公共交通機関の利用がより便利になります。

3 南口広場周辺の土地利用は?

広場周辺は都市の中核機能を支える業務施設の立地誘導と新潟の玄関口にふさわしい街並みの形成を目指します。

現在の広場跡地は、将来の恒久的な利用については、民間資本を活用した業務ビルや百貨店・ホテルなどの集客施設が考えられています。

また、来年度から駅南駐車場の場所で南口広場の工事が始まりますので、現在の駐車場は縮小します。

4 ランドマーク的な都市施設は?

南口広場西側には、高さ120メートル、30階建ての住宅・商業・業務棟ビルが平成22年始めの完成を目指し来年7月には着工の予定です。

また、駐車場を備えた商業・スポーツ施設も併設されますので、賑わいある空間が新たに誕生します。

駅舎自体は高層ビルは想定していませんが、駅周辺地区については、新潟の玄関口にふさわしい高層建築物等シンボリックな建物の誘導を図りたいと考えています。

5 高架下の利用は?

自転車駐輪場のほか、観光案内や窓口市民サービス利用などが考えられます。

なお、今後、工事に伴う通行止めや騒音などにより、ご不便やご迷惑をおかけすることがありますが、できる限りその軽減に努めていきますので、ご協力をお願いしたいとのことでした。

新潟駅周辺整備事務所は、新潟駅南口のプラカ2(7階)にあります。お気軽にお立ち寄りください。

